



きゅうしゅう

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎 TEL092-483-8811



シヤリンバイ



鹿児島市



ハイビスカス



奄美大島

喜界島



マングローブ



徳之島



沖縄県



与論島



那覇市



クロマグロ養殖日本一のまち 瀬戸内町

目次 CONTENTS

- 1 部隊紹介
海上自衛隊奄美基地分遣隊
航空自衛隊奄美大島分屯基地
- 2 自治体紹介
鹿児島県奄美市
鹿児島県大島郡瀬戸内町
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション



1 海上自衛隊奄美基地分遣隊

分遣隊長挨拶



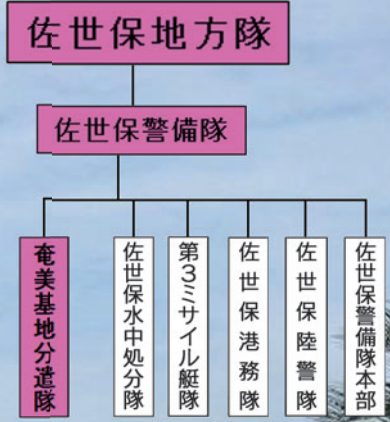
奄美基地分遣隊長
3等海佐 坂元 一雄 (さかもと かずお)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。奄美基地分遣隊長として今年7月から勤務しております坂元です。

奄美大島は、鹿児島港から約380km、沖縄那覇港から約320kmであり、九州と沖縄のほぼ中間に位置しており、奄美基地分遣隊は奄美大島南西部の古仁屋港(瀬戸内町)に所在する部隊であり、瀬戸内町は海軍の戦略・戦術上の要地として重視され、明治41年に大島海峡を拠点とした海軍の大演習が行われ、軍艦「三笠」で来島した東郷提督は、大島海峡の海軍根拠地としての適性を視察されたと言われる他、大正9年には陸軍奄美大島要塞司令部が設置される等の戦争跡地が多数、残っております。

さて奄美基地分遣隊は、昭和36年12月、佐世保防備隊内に奄美基地分遣隊設立準備室が開設され、翌年2月に佐世保防備隊 奄美基地分遣隊として開隊され、昭和45年10月、部隊の編制替えにより佐世保警備隊に編入され現在に至っております。

瀬戸内町は海上自衛隊のみならず自衛隊に対する町民感情が極めて良く、これを更に維持向上させ、自衛隊の信頼をより高めていくため、周辺地域住民との交流を図りつつ、地域が主催する各種行事等に積極的に参加する等、協力支援の充実を図っております。





奄美基地分遣隊



■ 奄美基地分遣隊は、奄美大島南西部の瀬戸内町（古仁屋港）に所在し、風光明媚な港地区にあり、周辺地域住民との交流も盛んで各種行事等にも積極的に参加しています。

奄美南部豪雨災害支援



自治体との防災訓練



奄美シーカヤックマラソン大会の支援



1 航空自衛隊奄美大島分屯基地

基地司令挨拶



奄美通信隊長 兼 奄美大島分屯基地司令
3等空佐 植木 和彦（うえき かずひこ）

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、こんにちは。航空自衛隊奄美通信隊長兼ねて奄美大島分屯基地司令の植木です。

奄美大島分屯基地は、鹿児島市の南西約380 km、那覇市の北東約360 kmと、鹿児島と沖縄のほぼ中間に位置する奄美大島に所在しております。

奄美大島分屯基地に配置されている奄美通信隊は、九州と沖縄を結ぶ通信の中継を任務とする部隊として昭和50年10月、西部航空警戒管制団の隷下として編成されました。編成から3年後の昭和53年10月には南西航空警戒管制隊に隷属替えとなっております。

その後、基地機能が逐次整備され、平成8年3月にはアナログOH多重通信装置からデジタルOH多重通信装置に換装され運用を開始しております。また、近年では、対空無線設備も設置されるようになり、通信の中継部隊としてだけでなく、航空警戒管制任務を直接支援する部隊としても期待されるようになってまいりました。

当分屯基地では、日頃から地元地域の行事や活動に積極的に参加・支援し、行政、警察、学校、自衛隊父兄会等、地域の方々と良好な関係を築いてきております。現在、奄美大島では陸上自衛隊警備部隊等の配置が検討されておりますが、自衛隊に対する理解と基地の安定運用のため、これまでと同様、地域の皆様とのつながりを大切にまいります。

基地紹介・沿革

奄美大島分屯基地は、総括班及び整備班の2班で構成されており、少数部隊ではありますが、旺盛な責任感をもって、多種多様の業務を補完、相互協力しながら積極的かつ組織的に業務に邁進しています。

～ 沿革 ～

昭和50年10月	奄美通信隊編成完結
昭和51年1月	奄美通信隊運用開始
昭和53年10月	南西航空警戒管制隊に隷属替
平成8年2月	新庁舎完成
平成8年3月	デジタルOH導入
平成19年4月	警戒管制任務に必要な各種器材導入
平成24年3月	警戒管制専務に必要な各種システム導入

奄美大島豪雨災害派遣

22年10月

■ 奄美市笠利支所への派遣活動

(情報収集)

(連絡調整)



■ 災害派遣部隊への支援



基地行事等による広報活動

■ CH-47Jによる体験搭乗



■ 防犯活動への参加



■ 職場体験学習支援



■ 基地見学



■ 奄美大島は南西諸島に位置し、鹿児島市の南西約380km、那覇市の北東約360kmに所在しています。総面積約712km²、周囲約461km、沖縄、佐渡ヶ島について3番目に大きい島で島全体が山岳地帯で形成されており、島特有の動植物が生息する島です。



奄美市長
朝山 毅 (あさやま つよし)

市長あいさつ

2 自治体紹介

鹿児島県 奄美市

「人と人との『和』」

〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町25-8
ホームページアドレス: <http://www.city.amami.lg.jp/>



ロビンちゃん

コクトくん

奄美市公式キャラクター「コクトくん」とお友達の「ロビンちゃん」です。妖精なので不思議な力を持っています。普段は交通安全と野生動植物の保護を訴えながら奄美の山で静かに暮らしています。

貴重な自然と古き文化が残る奄美

“太鼓(チヂン)のリズミカルな音が、老若男女の小気味よい足腰の動きに加え手舞いに勢いを添える。観光客は、男たちの指笛に乗せられて踊りの輪に加わり、ごちなくも、楽しく汗を流す。”奄美群島の島々の旧暦八月の風物詩です。

時間がゆっくり流れ古き文化が残る、そんな奄美市(奄美大島に位置する)は人口約4万5千人、大小8つの有人島からなる奄美群島の拠点都市です。亜熱帯気候に属し、黒潮流れる豊かな海にはサンゴ礁が広がり、色鮮やかな熱帯魚が生息しています。また、照葉樹林が覆う山々には、特別天然記念物のアマミノクロウサギやリリカケスをはじめ、世界的にも珍しい動植物が生息し注目されています。環境省は、この貴重な自然を保護するため世界自然遺産登録に向けた取組みを進めているところです。

離島に欠かせない自衛隊の活動

外海離島の地理的課題は、自然災害や緊急時の対応が脆弱な点です。

奄美大島では、平成22年観測史上はじめての622mm/日の記録的豪雨で甚大な被害が発生しました。この時、多くの自衛隊員が災害復旧や被災者救援に奔走されました。また、重篤な救急患者の本土搬送も自衛隊ヘリに頼っています。

こうした離島の厳しい環境において自衛隊の活動は、市民のみならず島民の安全・安心を守る観点からも大変心強く頼もしい存在となっています。

日頃の支援活動に、衷心からお礼と感謝を申し上げます。

海と山が そして人がもてなす奄美

その昔、遣唐使の南島路として重要な寄港地でもあり、「道の島」とも言われました。そのため、沖縄と異なり、本土と琉球、アジアのそれぞれの文化が融合し、趣ある生活風景(文化)が残された地域でもあります。

そんな奄美大島にはもてなしの資源を海と山、そして日常の生活の中で随所に見ることができます。是非この自然・歴史・文化の豊かな奄美へ一度訪ねていただき、奄美を満喫していただければ幸いに存じます。



▲ アマミノコウガエル (県指定天然記念物)

【日本で一番きれいなコウガエル】と言われています。屋間は木や地面にできた穴の中などで過ごし、夜になると活動し、虫などを食べて生活しています。

▼ アマミノクロウサギ (特別天然記念物)

ウサギの中では原始的な姿をしているので、「生きた化石」と呼ばれています。耳はノウサギに比べるとずいぶん短いのが特徴で、手足は短く、がっしりとしています。



▲ マングローブの林

国内で2番目のマングローブ林(奄美市住用町)は、潮の満ち引きによって表情を変えカヌーからの景色も変わってきます。



▲ 奄美郷土料理「鶏飯」

薩摩の役人をもてなした料理と言われる鶏飯。ほぐしたササミ・錦糸卵・しいたけ・ねぎやのりをのせて、地鶏のスープをかけていただきます。

(背景: 奄美大島照葉樹林)

▼ 金作原(きんさくぼる)原生林

天然の亜熱帯広葉樹が多数残っている金作原原生林。生きた化石といわれる巨大なヒカゲヘシなどの亜熱帯植物が残り、国指定天然記念物のリリカケスやキノボリトカゲなど、稀少な生物も生息しています。



▼ 地域住民との関わり

H22奄美豪雨災害時、自衛隊による災害復旧活動。孤立集落停電地区へ自衛隊ヘリによる発電機車の空輸(全国初)が行われました。





② 自治体紹介

鹿児島県 大島郡 瀬戸内町

みんなで創る 「チームせとうち」

〒894-1592
鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23
<http://www.town.setouchi.lg.jp/>



瀬戸内町長 鎌田 愛人
(かまた なるひと)

町長あいさつ

瀬戸内町は、西方村・実久村・鎮西村・古仁屋町の合併により昭和31年に町制施行されました。

鹿児島市から南東へ約380キロ南下した洋上の奄美大島の南端に位置し、大島本島・加計呂麻島・請島・与路島から構成されています。人口は、平成27年7月末で9,317人という小さな町ですが、大島海峡を中心に、東は太平洋、西は東シナ海という大海原に囲まれ、世界でも希有の美しい海底を誇り、鮮やかなサンゴ礁や色とりどりの熱帯魚を数多く見ることが出来ます。

また、先人たちの努力により、島唄をはじめ「諸鈍シバヤ」「油井の豊年踊り」などの貴重な民俗文化も伝承されてきました。このほか、近年では大島海峡を活かした「クロマグロ養殖日本一のまち」としても、全国から注目されています。

これからも、先人から引き継いだ豊かな自然・文化・郷土史を大切に、町民・全国の郷友会・役場職員が一体となった「チームせとうち」をスローガンに、『絆で創る魅力あふれる豊かなまちづくり』『元気あるまちづくり』に努めていきます。

皆様、ぜひ瀬戸内町へおこし下さい。

油井の豊年祭



稲作の収穫までの過程をコーモラスに踊りにした色彩豊かな豊年踊り。旧暦8月15日に、油井集落で行われます。鹿児島県指定無形民俗文化財。

諸鈍シバヤ



平賀盛が諸鈍集落民との交流のために教えたのが始まりとされている伝統芸能。旧暦9月9日に大屯神社で奉納されます。国指定重要無形民俗文化財。「島の宝100景」認定。

部隊との関わり



平成27年3月に清水公園総合体育館にて、陸上自衛隊第8音楽隊による「ふれあいコンサートin瀬戸内」が開催され、古仁屋中学校・高校生の吹奏楽部も一緒に演奏し町民の皆さんとの交流を深めています。

ホノホシ海岸



太平洋の外面に面しているため、黒潮の荒波にもまれて丸みを帯びた石が打ち寄せます。

3 九州防衛局業務紹介

鹿児島防衛事務所

■ 平成27年7月1日、鹿児島防衛事務所が開設し業務をスタートさせました。管轄する区域は鹿児島県全域で、島嶼（とうしょ）部を含めると広大な地域であります。この地域には、鹿屋航空基地や霧島演習場などの重要な防衛施設が所在するほか、島嶼部にも主要な施設があります。

主な業務としては、それら施設に係る周辺対策事業、地方協力確保、建設工事、施設の取得等のための連絡・交渉等がありますが、今後、奄美大島に初動対処を担う陸上自衛隊警備部隊の新編やKC-130の岩国基地からの鹿屋航空基地へのローテーション展開、空母艦載機離着陸訓練（FCLP）が実施可能な自衛隊施設の整備などの事案に係る地元地域における連絡・交渉等所要の増大が見込まれます。

そのような状況の中、鹿児島防衛事務所は、防衛行政を担う拠点として、所長以下5名体制で丸となって対応し、九州防衛局や熊本防衛支局の皆さんと一緒に頑張って参りたいと思っております。



〒892-0846

鹿児島市加治屋町13-4 MAX加治屋町ビル5F

TEL (099) -219-9055

4 インフォメーション

九州防衛局「パネル展」開催のご案内

■ 九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解いただくため、防衛白書、防衛局の業務及び自衛隊の活動等を紹介するパネル展示を下記のとおり行います。

当日は楽しいイベントを計画しておりますので、是非、九州防衛局のブースへお立ち寄りください。



月 日	曜日	基地名	行事の種類	主要所在地
10 25	日	築城基地	築城基地航空祭	福岡県築上町
11 22	日	芦屋基地	芦屋基地航空祭	福岡県芦屋町
12 6	日	新田原基地	新田原基地航空祭	宮崎県新富町

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>